

令和4年度全体事業概要報告

特定非営利活動法人
高度情報通信推進協議会

当協議会は、令和4年度においてもユーザ側の視点に立った高度情報通信分野の施工技術・技能に関する人材育成及び情報提供を行うことを目的として以下の事業を展開してまいりました。

I 人材育成・認定事業

(1) 技能検定事業

厚生労働大臣指定試験機関として、情報配線施工技能検定試験の公正かつ積極的な運営を行ってきた。昨年度からは、新型コロナウイルス感染拡大防止な観点から試験会場における受付での検温や2週間の体調調査表提出の協力やマスク着用、手指消毒励行など実施し全技能検定試験を計画通り実施できた。第4四半期には、厚労省のコロナ感染拡大対策の見直しがなされ、ガイドラインの改訂の周知をはかった。

事業の活性化策として受検者増を最大の課題と位置づけ、特別委員会でその対策を検討し強力に事業を進め、3級の総受検者数305人で技能士合格者155名、2級の総受検者数73名で技能士合格者34名、1級の総受検者14名で技能士合格者は5名であった。

12月22日には3年に一度の厚生労働省に定期立入検査が実施され、ホームページでの受検手数料の積算根拠の掲載および役職員服務規程の整備の指摘があり改善報告書を提出した。なお、本服務規程は令和5年度4月1日より施行しているので確認をお願いする。

また、全国の実技試験での採点の統一性確保および新型コロナウイルス感染拡大防止対策周知のため、全国試験会場対応の技能検定委員が参加したWeb会議による中央水準調整会議を今年度最終回の技能検定試験の直前1月18日にWeb会議(動画配信での検定試験の心構えなどを特別委員会菊池副委員長が講師として参加)で開催した。

(2) INIP認定事業

現在、今後のINIP認定事業の在り方を検討しており、INIP認定試験は中止している。

II 普及・啓蒙事業

普及・啓蒙事業の一環として、より高度な施工技術に関する技能五輪等関連事業への支援活動を推進している。

① 第60回技能五輪全国大会への活動支援

令和4年11月4日～11月7日幕張メッセで開催された第60回技能五輪全国大会の運営協力団体として競技用機材・部材の調達・提供や予選会の開催(24名の選手推薦)など技能五輪支援活動準備を積極的に行った。北陸電気工事(株)の野ツ俣翔也選手が金メダルを獲得した。

成績優秀者14名に技能証が厚生労働省より交付された(技能検定1級実技試験免除の資格が得られる)。

② 第18回情報通信配線技術フォーラム2021春・夏

令和4年4月7日(株)きんでん人材開発センターにて第60回技能五輪全国大会予選会を兼ねて情報通信配線技術フォーラム2022春を開催した。また、6月29日から7月1日東京ビッグサイトで第18回目の情報通信配線技術フォーラム2022夏を第22回光通信技術(FOE2022)と共催で開催した。特に、技能五輪全国大会初参加選手による強化訓練競技、新職種「光電子技術」のデモンストレーション競技も実施した。予選会での成績優秀者6名に技能証を交付した。

③ WSC種連絡会

職種連絡会は技能五輪国際大会事業の更なる向上発展を目指し、当協議会会員の賛助企業からの支援を得ながら本格的に活動した。

1. 情報配線施工技術標準化に関する活動

技能の国際標準化を目的に、昨年度より(一社)電子情報技術産業技術協会に設置されている情報配線システム標準化専門委員会にリエゾン会員として加盟している。この活動を通じて、ISO/IEC SC25/WG3においてSustainabilityの審議に協力している。加えて、本年度より経済産業省令和4年度政府戦略分野に係る国際標準開発活動(経済産業省)における「次世代通信技術に対応した情報配線システムの実現に向けた高度なスキル人材の確保に関する国際標準化」に関する委員会等に参画し技能五輪に関する技能の国際標準化に取り組んだ。

2. 技能五輪国際大会職種開発に関する活動

現場の実態、真に必要としている技能、今後必要とされる技能及び日本標準等を勘案し、職種定義に盛り込むべく活動を行った。技能五輪全国大会の情報共有及び各種議論を目的とした職種連絡会を3回開催致した。令和3年度最終回は2月22日ハイブリット形式で開催した。

3. 同大会代表選手強化訓練支援に関する活動

強化訓練課題の作成を行った。

4. 同大会参加ノウハウ及び情報の共有・伝達に関する活動

参加企業・エキスパート・選手のノウハウを文書化し一元管理・公開した。WSC2022SEに関する報告書を作成し公開する予定である。

5. 同大会SCMとの連携・支援に関する活動

SCM活動に関する各種支援(通訳補助、活動補助)を行った。

④ 第46回技能五輪国際大会への活動支援

令和3年9月に中国・上海において開催が予定されていたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で1年延期となり、令和4年10月に開催することになっていたが、令和4年5月のWSI(WorldSkills International)の臨時会議で、上海のロックダウンの影響で中止となったが、代替措置が検討され、令和4年9月11日にかけて日本を含む15カ国・地域で分散改開催が決定した。日本では、令和4年10月15日から18日にかけて京都市のみやこメッセにおいて3職種(情報ネットワーク施工、再生可能エネルギー、光電子技術)が開催され、弊協議会は協賛を行ったこれに関連し、エクシオグループ株式会社より多大な寄付をいただいた。厚く御礼申し上げます。その結果、情報ネットワーク職種はエクシオグループ(株)の海老原徹選手が金メダル、再生可能エネルギー職種は(株)きんでんの柳翔大選手が金メダル、光電子技術職種は日本電子専門学校の荒井音寧選手が銅メダルを獲得した。特に海老原選手は情報ネットワーク施工職種で日本が9連覇を達成する快挙を達成した。

⑤ 各表彰制度への推薦

i) 理事長表彰

令和4年度の特別功労者表彰は技能五輪事業貢献者2名（那須一久氏；コムシスロミネット(株)、松尾佳史氏：(株)SYSKEN）及び技能検定事業貢献者3名（品田智史氏：一般社団法人情報通信エンジニアリング協会、押味孝志氏：アンリツ(株)、板垣広美氏：(株)フジクラ）が表彰された。

ii) 現代の名工表彰

令和4年度卓越した技能者（現代の名工）表彰は技能五輪事業への顕著な貢献が認められたエクシオグループ株式会社の中山拓也氏が表彰された。この際、令和5年1月25日に記念祝賀会を明治記念館で開催した。

最後に財政的には、当協議会の経営環境は引続き極めて厳しい状況であり、今年度も単年度黒字化目標に向かって運営改善に取り組めます。目標達成には、当協議会事務局のリーダーシップと業務の迅速化等も大きな課題であります。引き続き経費削減と併せて、更なる組織強化を図り、効率的に各委員会等の運営を行います。広報活動、会員サービス等も提供してまいります。その改善・改革には関係各位のご理解とご協力が不可欠となります。